

2011年度 早稲田大学 政治経済学部

日本史 解答例

I 古代の彫刻と貞永式目 <やや易>

A 1オ 2ア 3エ 4イ 5エ

B 1広隆寺 2隋 3北条泰時

文学部以外ではあまり目にしない美術の図版問題で、しかも1つは中宮寺と広隆寺の弥勒菩薩像(半跏思惟像)を判別できなければならない問題となっていた。そこが難しかっただろう。

II 近世の外交・文化 <やや易>

A [i]<a> [ii] [iii]<e> [iv]<c> [v]<d>

B [vi]南蛮 [vii]渡辺崋山 [viii]異国船打払令〔無二念打払令〕

未見史料を読解して解く問題。時間配分に気をつけながら史料を斜め読みし、史料中にあるいくつかのヒントをたよりに下線問題や空欄問題を解こう。こうした問題が解けるようになるには、まず定番の史料問題の対策をおこない、次に過去問(他の大学も含む)で未見史料問題をたくさん解いて慣れるしかない。

III 明治時代の史料 <やや易>

A 1オ 2エ 3オ 4ウ 5エ 6オ 7イ 8ア

B 9西園寺公望 10桂太郎 11小村寿太郎 12日本社会党

最初の小問から順に問題を解いていくより、後の小問から解いた方が時間がかからずに答えを出せた。とりわけA 1が難しかったため、そこに時間をかけすぎると最後の論述問題にかける時間がなくなってしまう。各小問をパッと見渡して、要領よく小問をクリアしていく能力も養いたい。

IV 大正時代の史料 <標準>

A 1ロ 2イ 3ハ 4ホ 5ニ 6ニ 7イ 8ホ

B a理化学研究所 b柳田国男 c漢冶萍公司 d西原借款

これもまた未見史料問題だが、今度は史料文全体を読む必要はなく、小問ごとに必

要な箇所を読むだけで次々と正解できただろう。A 1 と A 7 は難問と言ってもかまわないが、A 1 は早慶大向けの講習のテキストで「丹下左膳」を問う問題があったし、2002年の早稲田大政経では「丹下左膳」から作者が問われていた。正解できた人は結構いるだろう。

<http://www.derutoko.com/2011tekityuu.html#seikei>

またBの記述問題で漢字を間違えた人がいるだろうが、漢字ミスに部分点はないし、そもそもどれも各大学で記述問題が出されている用語である。

V 近現代の議会政治 <標準>

A 1. (ウ) 2. (エ) 3. (ア) 4. (エ)

B 日本新党の細川護熙を首班とする非自民8党派連立内閣は、政治改革関連4法案を成立させた。次に社会党が連立を離脱したため、新生党の羽田孜が少数与党内閣を組織した。ついで日本社会党の村山富市が、自民党と新党さきがけとの3党連立内閣を組織した。(118字)

A 3 は2択にまでは絞り込めるだろうが、確実に正解するのは難しいだろう。そしてハードルが高かったのが最後の論述問題である。昨年までの易しい論述問題から一変して、細川内閣から村山内閣までの連立与党の変化をつかんでいる必要があった。

講評

本学部では例年、早稲田の他学部と比較してもっともレベルの高い問題が出されている。出題範囲の広さはもちろん、正誤問題・史料問題・論述問題などさまざまな出題形式に備えておく必要がある。そのためには、たとえば奈良時代とか古代史などの特定の時代の学習が終わった時点で、その範囲のさまざまな問題にあたって十分習得できたかどうかを確認してから、次の時代に進むのが良い。出題される問題レベルを把握しつつ、新しい範囲の学習を進めるべきである。